

人と地域と医療をつなぐかけはしに

**Kumamoto Kinoh Hospital**

# 熊本機能病院 地域連携室

## キノウトアシタ

**Kinoh To Ashita**

### ご挨拶



循環器内科専門医  
 日本高血圧学会指導医  
 日本心血管  
 インターベンション治療学会指導医

### キノウトアシタ Vol.2の発行につきまして

医療者側にとっての地域連携システムとは、役所が目指す地域連携医療とは、地域完結型で切れ目がなく、効率的に質の高い医療を提供するもの。では、医療機関側には地域連携医療とは、どうあってほしいものでしょうか。これは、施設や地域で異なります。

重要なのは、まずはその地域の医療財産、人材の見直し、相互理解ではないでしょうか。その後、地域の医療者が患者さんのためにできること、できないことを理解し合い、補足し合って地域医療に貢献するのが目指すところと考えます。各々がまず、何をやりたいのか、何に困っているのか、顔を見ながら話し合い、地域の情報共有を行い、システムをIT networkに生かす、何とも作りたいシステムです。

最近、地域連携の本で感じたのは患者さんだけでなく、それぞれの医療施設にとって、現状よりは疲弊せず、楽しみながら地域貢献できるチャンスが地域連携システムの中に眠っているということでした。

地域連携室室長 副院長 水野 雄二（循環器内科）

### 各科紹介

#### 形成外科・小児形成外科

##### 皮膚や骨の修復、口唇口蓋裂の治療

- ▶国際唇裂口蓋裂センター
- ▶創傷ケアセンター（完全予約制）

先天的な異常から様々なニーズに対応できる専門医が治療にあたります。

慢性創傷治療の専門センターでは治療が難しい傷を専門プログラムで治療にあっています。

\*褥瘡の筋皮弁術にも取り組んでいます



(61歳男性 右座骨部褥瘡 手術：大臀筋皮弁移動術)

形成外科の対象疾患は多岐にわたります。

小児領域の手術件数（平成22年度）は、「口唇口蓋裂」が全国で7番目、「多合指症等の先天性疾患」は全国で16番目です。地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

最近、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例が増加しており、外見の改善だけでなく、術後、「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。

当科は、昭和大学形成外科教室の関連病院として、鬼塚卓彌初代教授、さらに今年3月に退官される角谷徳芳藤が丘病院形成外科教授にも定期的、継続的に診療いただいています。今後も、小児から高齢者まで、地域連携を深め、治療の質の向上を図っていく所存です。

形成外科部長 小園喜久夫

| 形成外科            | 件数  |
|-----------------|-----|
| 皮膚皮下腫瘍摘出術       | 270 |
| 口唇口蓋裂形成術        | 107 |
| 多指(趾)症、合指(趾)症手術 | 35  |
| 眼瞼下垂症手術         | 33  |
| 顔面骨骨折手術         | 32  |
| 褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術   | 27  |
| 瘢痕(拘縮)形成術       | 20  |
| 耳介形成術           | 7   |
| その他             | 80  |
| 合計              | 611 |

(平成24年度 実績)



日本形成外科学会 役員・専門医  
 皮膚腫瘍外科指導専門医



日本形成外科学会専門医  
 皮膚腫瘍外科指導医

これまで国立、市立などの総合病院では、高エネルギー外傷に伴う頭蓋顔面骨骨折、悪性腫瘍再建を行ってきましたが、当院では皮膚良性腫瘍が多いです。また、先天異常の手術が他院より多いと思われます。小児疾患に関しては、埼玉小児医療センターで多くのことを勉強させていただきました。当院では、隣接する「歯ならびの歯医者さん」泉先生に術前矯正をしていただくことで、これまでよりも口唇口蓋裂の手術に良い結果が得られていると考えます。

形成外科部長 田邊毅

# 整形外科

当院の整形外科は、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

人工関節、関節鏡、神経縫合を含むマイクロサージャリーによる手の手術などが特長です。



整形外科で主として、上肢を治療していますが、最近では高齢者の橈骨遠位端骨折、上腕骨骨折が増加しています。特に橈骨遠位端骨折は、ロッキングプレートができ、複雑な骨折も容易に固定できるようになりました。

ギプス装着の期間が短く、軽いスプリントで2週間固定するだけです。加齢による母指CM関節症、ヘバーデン結節も多く、手術も増加しています。また手根管症候群、腱鞘炎の件数も多いです。

救急車で運ばれる患者さんも多く、指切断、母指切断、前腕開放骨折、腱損傷、神経損傷の患者さんも増加しています。ドクターヘリで運ばれてくるケースも多くなっています。手の専門医が4名と多いので、手の先天異常、手の外傷、マイクロサージャリーを使用した指などの再建が多くなることも期待しています。

(平成24年度 実績)

| 整形外科(上肢)                       | 件数  |
|--------------------------------|-----|
| 腱鞘開放術                          | 181 |
| 骨接合術<br>(橈骨遠位端・上腕骨近位端・肘関節周囲骨折) | 180 |
| 手根管開放術(直視下・鏡視下)                | 212 |
| 肩関節鏡視下手術                       | 82  |
| 肘・手関節鏡視下手術                     | 21  |
| 肘部管開放術                         | 27  |
| マイクロサージャリー(神経・血管)              | 38  |
| 再接着術                           | 9   |

副院長 整形外科 中島 英親

上肢整形外科を中心に診療をしております。当院の利点である、迅速な精査と手術対応を心がけています。今後ご相談させて頂きながら、連携・地域医療のお役に立てればと考えております。

整形外科部長 寺本憲市郎



日本手外科学会専門医  
日本整形外科学会専門医

# 循環器内科

質の高い専門治療を地域の方々のために

病態に応じた質の高い医療を目指します。時に心筋梗塞、狭心症、心不全、高血圧、メタボリック症候群を中心に幅広く取り組みます。救急から精査、予防リハビリを含め一貫した治療が特長です。



狭心症とは、心臓に血液が一時的に不足する病気です。心臓を養う血管“冠動脈”が一過性に縮むことで起こるのが“冠攣縮狭心症”です。世界的にみても、なぜか日本人に多いタイプの狭心症です。夜間から朝方の安静時に起きやすく、数分で治まる胸部から肩、あごへの圧迫感を特徴とし、ひどいときには冷や汗を伴い、心臓マヒに至ることもあります。

診断には、心臓カテーテル検査での誘発試験を行います。治療には、発作を抑える対症的な薬による治療がある程度確立されていますが、現在では病気のメカニズムの解明に伴い、予防や根本療法につながる生活習慣改善や薬剤が解ってきております。この冠攣縮狭心症に関して、世界第一人者の熊本大学循環器内科 泰江前教授のもと我々は日々患者さんから学ばせていただいております。患者さんへ最善の治療をフィードバックできるものと自負しております。

循環器内科部長 原田栄作

日本内科学会認定医  
日本循環器学会専門医  
日本体育協会認定スポーツドクター

# MRI・CTの予約に関して

専門医が読影レポートを作成、ご報告いたします

検査予約等 当院へご相談ください

## 1.インターネット予約

(富士フィルムC@RNAログインページへご利用には登録が必要です)

## 2.電話予約

電話番号 096-345-8111 (代表)

月曜日～金曜日 8時30分～17時00分

土曜日 8時30分～11時00分

代表電話となりますので、医療機関名と

「画像診断検査予約」の旨をお伝えください。



64列マルチスライスCT  
Aquilion64 東芝



Achieval1.5T  
Philips



3D画像作成ワークステーション  
骨密度測定装置



地域の皆様から信頼していただける画像診断センターを目指しています。

画像診断センター長 中山 善晴

# 論文

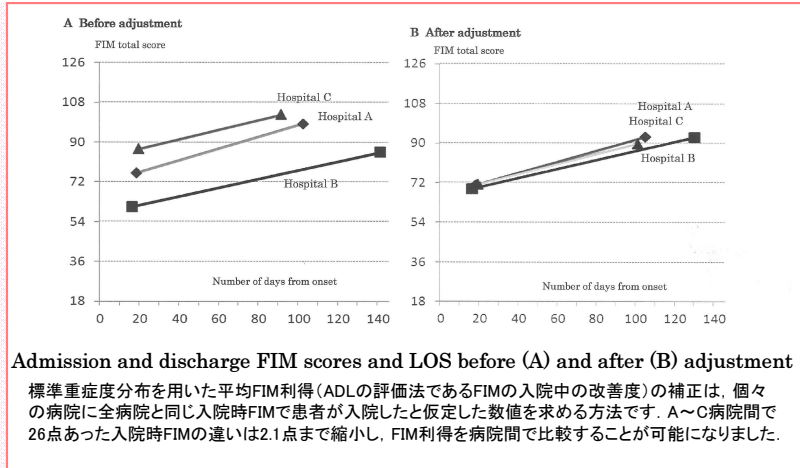
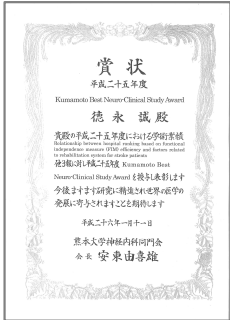
## 熊本大学神経内科同門会

### 「平成25年度 Kumamoto Best Neuro-Clinical Study Award」授与 熊本機能病院 神経内科 部長 徳永誠



日本リハビリテーション医学会専門医  
日本神経学会専門医  
日本脳卒中学会専門医・評議員  
日本内科学会認定医

- ①Tokunaga M, et al: Comparison between convalescent rehabilitation hospitals participating in the stroke liaison critical pathway with respect to the gain of Nichijo-seikatsu-kino-hyokahyo score. Jpn J Compr Rehabil Sci 3: 11-17, 2012.
- ②Tokunaga M, et al: Mean length of stay and rate of discharge to home adjusted for severity in rehabilitation hospitals participating in Kumamoto stroke liaison critical pathway. Jpn J Compr Rehabil Sci 3: 26-31, 2012.
- ③Tokunaga M, et al: Effects of age on functional independence measure score gain in stroke patients in kaifukuki rehabilitation ward. Jpn J Compr Rehabil Sci 3: 32-36, 2012.
- ④Tokunaga M, et al: Relationship between hospital ranking based on Functional Independence Measure (FIM) efficiency and factors related to rehabilitation system for stroke patients. Jpn J Compr Rehabil Sci 3: 51-58, 2012.



上記4報は、患者重症度の異なる回復期リハビリテーション病院間で日常生活活動(ADL)の改善度・在院日数・自宅退院率などを比較するための手法を開発し報告したものです。

Jpn J Compr Rehabil Sciは、回復期リハビリテーション病棟協会の英文機関誌で、インターネット上で公開されており、2012年の第3巻には13篇が掲載されています。  
(<http://www.rehabili.jp/jjcrs/contents.html>)

熊本大学神経内科同門会では、Kumamoto Best Neuro-Scientist of the year、Kumamoto Best Neuro-Clinical Study Award、Kumamoto Best Neuro-Basic Study Awardを毎年通常1名ずつ選んで表彰していて、今回幸いに表彰を受けることができました。

論文作成にあたっては、熊本脳卒中地域連携ネットワーク研究会(K-STREAM)の橋本洋一郎先生、寺崎修司先生、熊本機能病院の山永裕明清雅苑施設長、中西亮二副院長、渡邊進副院長には大変お世話になりました。また熊本機能病院とK-STREAMから研究に必要な資金援助をうけました。御礼申し上げます。

神経内科部長 徳永 誠

# 看護研究

## 「TKA術後持続アイシングシステムの検討」

熊本機能病院 看護部 坂本香織・宮川昂子・千賀恵美・谷口喜美代・芹口順子

### 背景

持続アイシングシステムとは、アイシング専用の器械を手術直後から48時間装着し、6時間毎に中の氷を交換するシステムです。

平成24年9月より、当院では人工膝関節置換術(以下TKA)の術後に持続アイシングシステムを導入しています。しかし施行中、患者の苦痛訴えがあり、看護師の仕事負担も多くなっています。今回、TKA術後持続アイシングシステムを使用することの有効性について調査することにしました。

### 研究方法

平成24年9月から平成25年11月までに当院にてTKAを施行した患者 98名を対象とし、以下2群の結果を比較しました。

- ・持続アイシングシステムを使用した群(以下IS群)
- ・従来に氷枕使用し冷却を行った群(以下従来群)

### まとめ

IS群は有意に1本杖獲得までの日数及び入院期間が短縮されていました。ただ、持続アイシングは術後患者にとってストレスになっている可能性もあり、患者説明用のパンフレットを作成し個々に対応していく必要があると思います。

### 持続アイシングシステム群と従来群



### 考察

- ・疼痛については、統計学的には有意差はなかったが従来群に比べIS群の方が低く抗炎症効果により疼痛が抑制された可能性がある。
- ・出血については、統計学的有意差はないものの、従来群に比べIS群が約100g少なかった。末梢血管の収縮作用により出血量が減少した可能性がある。
- ・持続アイシングシステムにより局所の炎症が抑えられた結果、腫脹や疼痛が軽減しリハビリの進行が促進されたため1本杖歩行獲得日数が有意に短縮したと思われる。

持続アイシングシステムは有効

# インフォメーション

ご紹介方法 まずは代表電話へお電話ください

熊本機能病院

096-345-8111 (代表)



救急センターは24時間対応  
整形外科医・内科医が常駐しています

救急患者さんのご紹介

他病院医師からのご紹介

その他のご紹介

救急担当医師へ

当院医師へ

地域連携室へ

電話交換へお伝えください。それぞれの部署へお繋ぎします。 \*詳しくはホームページをご参照ください

## 外 来 診 療 表

【受付時間】

月曜日～金曜日

午前8時30分～午前11時 午後0時30分～午後4時

土曜日

午前8時30分～午前11時

【初診受付】

午前8時30分～午前11時 新館2階総合受付にお越しください

午後0時30分～午後4時 本館1階外来受付にお越しください

※は完全予約制です。  
(平成25年8月1日～)

| 曜日             | 月  |                        | 火  |                                      | 水  |   | 木  |                                      | 金   |                         | 土   |
|----------------|--|------------------------|--|--------------------------------------|--|---|--|--------------------------------------|---|-------------------------|---|
|                | 午前   | 午後                     | 午前   | 午後                                   | 午前   | 午後  | 午前   | 午後                                   | 午前  | 午後                      | 午前  |
| 整形外科           | 中島 英親<br>高橋修一朗<br>星野 秀士<br>重本 弘文<br>高橋 知幹  | 中島 英親<br>田口 学<br>清田 克彦 | 米満 弘之<br>中根 惟武<br>寺本憲市郎  | 中根 惟武<br>寺本憲市郎<br>林田 洋一              | 高橋修一朗<br>久保田晃志<br>田口 学<br>高橋 知幹  | 高橋修一朗<br>(スポーツ特再会)<br>重本 弘文<br>星野 秀士<br>久保田晃志 | 中島 英親<br>寺本憲市郎<br>清田 克彦  | 中島 英親<br>(スポーツ特再会)<br>寺本憲市郎<br>清田 克彦 | 米満 弘之<br>中根 惟武<br>田口 学<br>星野 秀士                             | 久保田晃志<br>高橋 知幹<br>林田 洋一 | 米満 弘之<br>週により担当が異なります。<br>外来受付までお問い合わせください。             |
| 救急科            | 米満弘一郎  | 米満弘一郎                  | 米満弘一郎  | 米満弘一郎                                | 米満弘一郎  | 米満弘一郎   | 米満弘一郎  | 米満弘一郎                                | 米満弘一郎   | 米満弘一郎                   | 米満弘一郎   |
| 形成外科<br>小児形成外科 | 小園喜久夫  | 創傷ケア※                  | 田邊 毅   |                                      |  |   | 田邊 毅   | 田邊 毅                                 | 小園喜久夫   | 小園喜久夫                   | 第1,3,5週 小園喜久夫<br>第2,4週 田邊 毅                             |
| 内科             | 山永 裕明<br>(神経内科・リハ科)<br>中西 亮二<br>(神経内科・リハ科)<br>木原 薫<br>(神経内科・リハ科)<br>時里 香<br>(神経内科・リハ科) | 内科担当医                  | 渡邊 進<br>(神経内科・リハ科)<br>竹迫 雅弘<br>(糖尿病)<br>江口議八郎<br>(頭痛外来※)<br>徳永 誠<br>(神経内科・リハ科) | 竹迫 雅弘<br>(糖尿病・内科)<br>内科担当医<br>味覚外来※  | 中西 亮二<br>(神経内科・リハ科)<br>江口議八郎<br>(脳神経外科※)<br>桂 賢一<br>(神経内科・リハ科)<br>時里 香<br>(神経内科・リハ科) | 内科担当医   | 山永 裕明<br>(神経内科・リハ科)<br>江口議八郎<br>(脳神経外科※)<br>渡邊 進<br>(神経内科・リハ科)<br>桂 賢一<br>(神経内科・リハ科) | 内科担当医<br>味覚外来※                       | 木原 薫<br>(神経内科・リハ科)<br>徳永 誠<br>(神経内科・リハ科)<br>福永貴美子<br>(神経内科) | 内科担当医                   | 江口議八郎<br>(脳神経外科※)<br>週により担当が異なります。<br>外来受付までお問い合わせください。 |
| 循環器内科          | 水野 雄二<br>森田 純生   | [13時～16時]<br>庄野 信      |  | [13時～15時]<br>水野 雄二<br>原田 栄作<br>禁煙外来※ | 泰江 弘文<br>原田 栄作   | [13時～16時]<br>庄野 信                             |  | [13時～15時]<br>水野 雄二<br>森田 純生          | 原田 栄作<br>山口 尊則<br>(毎月4回目)                                   | [13時～16時]<br>庄野 信       | 担当医   |
| リウマチ科          | 工藤 博徳  |                        | 工藤 博徳  |                                      |  |   | 工藤 博徳  |                                      | 工藤 博徳   |                         |   |
| 血管外科           |  |                        | 中島 昌道  |                                      |  |   | 中島 昌道  |                                      |   |                         |   |

## 医療法人寿量会 熊本機能病院

〒860-8518

熊本市北区山室6丁目8番1号

TEL : 096-345-8111

FAX : 096-345-8188

## 休診日

日曜・祝日

年末年始 (12月29日午後～1月3日)

開設記念日 (4月1日)

ホームページ

熊本機能病院

検索